

- ・ MEPCは、海洋汚染防止条約(MARPOL)等に基づく環境規制を検討、策定。
- ・ 温室効果ガス(GHG)、硫黄酸化物(SO<sub>x</sub>)や窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)の排出削減、バラスト水管理、油汚染対策等の環境規制が海事産業に与える影響は非常に大きく、注目度が高い委員会。
- ・ 2017年7月に行われた2018年の議長選挙の結果、我が国の齋藤英明氏(海事局船舶産業課長)がアジアから初めて議長に選出。(本年10月、2019年の議長に再選。)

MEPCにおける審議の様子



議事進行を務める齋藤議長



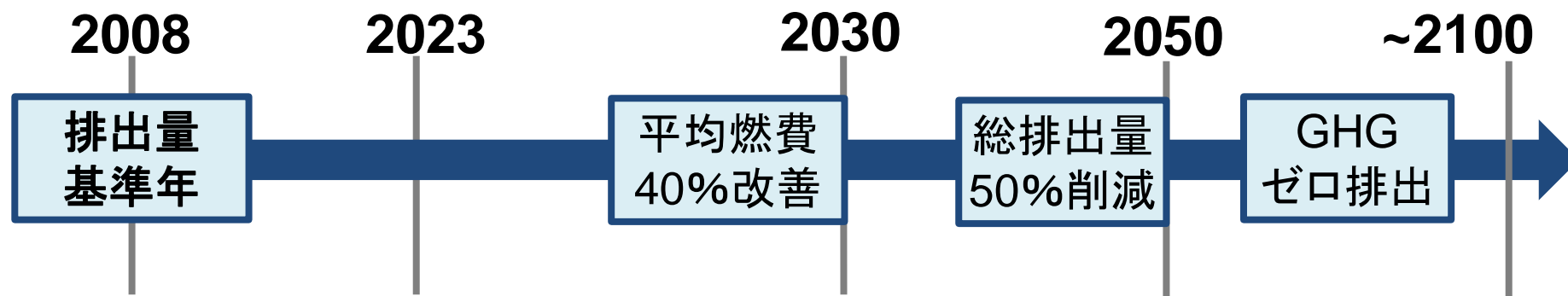


## 2018年4月、GHG削減戦略採択

### 長期目標

今世紀中のなるべく早期に、国際海運からの  
**GHGゼロ排出**を目指す。

※特定セクターのグローバルな合意としては**世界初**。



### 対策の候補

- 新造船の燃費規制の強化
- オペレーション効率化等
- 市場メカニズム (MBM) の導入
- 低炭素燃料の導入等
- ゼロ炭素燃料の導入等

2023年までに合意

2030年までに合意

2030年以降合意

- 義務的ルールは、**旗国に関わらず一律に実施**。
- あわせて、途上国等への影響評価を実施するとともに、**技術協力**等を推進。